

サウンド・音場を設定する

サブウーファー出力の調整は、以下のような場合に有効となります。

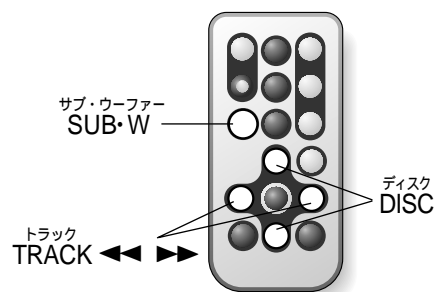
リヤースピーカーをサブウーファーとして活用する場合
(P.24 参照：SBC-SW の設定を“ON”にしてください。)

プリアウトコード 外部出力設定用 に別売の外部アンプを接続している場合
(P.32 参照：DVD IN の設定を“OFF”にしてください。)

お知らせ

本体の **[SUB・W]** は、センタースピーカーの内側のパネル面にあります。
本体の **[DISC]** を押し、センタースピーカーを開いて操作してください。

- 約 10 秒間何も操作をしないと、通常モードに戻ります。
- 別売の外部アンプに内蔵されたカットオフ周波数や位相差調整機能を使用する場合は、本機のカットオフ周波数を“OFF”，ディレイ時間を“0”にしてください。



1 サブウーファー出力モードにして、

[SUB・W] を 2 秒以上押す。

2 項目を選び、 3 調整する。

[TRACK ▶▶] を押して項目を選ぶ。
(**[TRACK ◀◀]** : 逆回り)

サブウーファー出力を調整する

DDBC (デジタル・ダイナミック・ベース・コントロール)

- 内部アンプの音量バランス調整 (フェダー：P.24 参照) で変化しません。
- 調整中は“SUB・W 表示”が点滅し、設定されると点灯します。

サブウーファー出力の調整は、以下の出力に連動します。

- リヤースピーカーをサブウーファーとして活用する出力 (SBC-SW が“ON”)
- プリアウト 外部出力設定用
- メインイン / プリアウト リヤースピーカー

音量を調整する

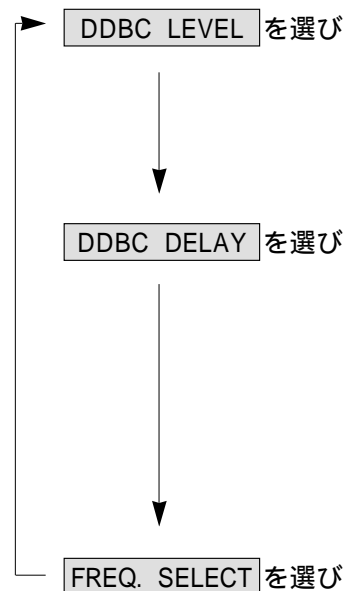
DDBC 音量レベル
初期設定：SW - LEVEL 0
調整範囲：- , - 10 ~ + 10
1 ステップは、2dB ごと

距離感を調整する

DDBC ディレイ時間
スピーカーとサブウーファーの音が耳に届くタイミングに時差 (ディレイ) をなくして、量感のある重低音を再生します。
初期設定：SW - DELAY 0
調整範囲：- 10 ~ + 10
1 ステップは、0.3 ms (0.0003 秒) ごと

低音の厚みを調整する

DDBC カットオフ周波数
出力する低域周波数の上限 (カットオフ周波数) を調整し、音の濁りやひずみを防ぎます。
初期設定：FREQ. OFF



[DISC] : レベルが上がる
[DISC] : レベルが下がる
- : プリアウトに接続したアンプから音が出なくなる。

[DISC] : + (プラス) 方向
ディレイ時間が長くなる。
(サブウーファーの出力タイミングが遅くなる。)
[DISC] : - (マイナス) 方向
ディレイ時間が短くなる。
(サブウーファーの出力タイミングが早くなる。)
0 : スピーカーとサブウーファーの出力タイミングが同じになる。
● 調整中は“DELAY 表示”が点滅し、設定されると点灯します。

[DISC] を押して、切り替える。(**[DISC]** : 逆回り)
OFF 100 150 200 (Hz)
OFF : 高音域をカットしない通常の出力。